

## 安全データシート

整理番号： IM\_LF-JP12-20150113  
 作成： 2006/09/17  
 改訂： 2015/1/13

製品名： イマージョンオイルLF

製造中止品

## 1. 化学物質等及び会社情報

製品名： イマージョンオイルLF

会社名： 出光興産株式会社  
 住所： 東京都千代田区丸の内二丁目7番2号 JP77-28階  
 担当部門： 化学事業部 溶剤課  
 TEL：03-3213-3621 FAX：03-5221-9582

緊急連絡先： 化学品部 品質保証・製品安全課  
 TEL:03-3213-3634 FAX:03-5221-9582□

推奨用途及び 顕微鏡 油浸系対物レンズ油

## 2. 危険有害性の要約

GHS分類	区分
引火性液体	区分外
急性毒性(経口)	区分外
皮膚腐食性/刺激性	区分外
眼損傷性/刺激性	区分外
皮膚感受性	区分1
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分2 (腎臓)
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	区分2 (腎臓、血液)
水生環境有害性(急性)	区分2
水生環境有害性(慢性)	区分2

## GHSラベル要素

絵表示：



注意喚起語： 警告

危険有害性情報： アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 作用を受ける臓器(腎臓)の障害のおそれ  
 長期または反復ばく露により作用を受ける臓器(腎臓、血液)の障害のおそれ  
 水生生物に毒性  
 長期的影響により水生生物に毒性

注意書き： すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙。

取扱中は適切な保護手袋/保護衣類および保護眼鏡/保護面を着用すること。

取扱い後はよく手などを洗うこと。  
 眼に入った場合は、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

ばく露又はばく露の懸念がある場合、気分が悪い時、皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当を受けること。

容器を密閉して涼しく換気の良いところで施錠して保管すること。  
 熱、火花、裸火のような着火源から遠ざけること。ー禁煙。  
 アレルギー性の皮膚反応を引き起こす恐れがあります。  
 ご使用前に安全データシート (SDS)をご確認ください。  
 取り扱い作業所には局所排気装置を設ける。  
 容器から本製品を取出す時は、こぼさないように注意してください。  
 漏出物は回収し、環境への放出を避ける。  
 ゴミ、水分等の混入防止のため、使用後は密栓してください。

## 安全データシート

整理番号： IM\_LF-JP12-20150113

作成： 2006/09/17

改訂： 2015/1/13

製品名： イマージョンオイルLF

製造中止品

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別： 混合物

成分及び含有量

成分名称	含有量 wt. %	CAS NO.	官報公示整理番号		安衛法 通知対象	化管法	毒劇法
			化審法	安衛法			
1, 4-ジメチル-2-(1-フェニル エチル)ベンゼン	約10	6165-51-1	4-38, 4- 244	公表	非該当	非該当	非該当

## 4. 応急措置

吸入した場合：	被災者を新鮮な空気のある場所に移す。 呼吸停止または呼吸が弱い場合は、人工呼吸を行う。（衣類を緩め気道を確保する）
皮膚に付着した場合：	気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。 多量の水または石けん水で十分に洗い落とす。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。 皮膚刺激性または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
目に入った場合：	清浄な流水で少なくとも15分間洗眼する。 洗眼の際、眼球とまぶたの隅々まで洗浄する。 コンタクトレンズは固着していない限り取り除いて洗浄する。
飲み込んだ場合：	気分が悪いときは、医師の診断/手当てを受けること。 無理に吐き出させない。揮発性液体なので吐き出すと危険が増す。 意識がない被災者には、口から何も与えてはならない。 医師の診断/手当てを受けること。

## 5. 火災時の措置

消火剤：	消火には、粉末（ドライケミカル）、二酸化炭素、乾燥砂を用いる。
使ってはならない消火剤：	棒状注水
火災時の特有の危険有害性：	燃焼する時多量の黒煙を発生する。燃焼ガスは一酸化炭素を含む。 火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法：	加熱により容器が爆発するおそれがある。 火元への燃料源を断つ。 初期消火は粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。 大規模火災は泡消火剤で空気を遮断する。 棒状水は火災を拡大する恐れがあるので使用しない。 火災周辺は関係者以外立入禁止とする。 周囲の可燃物設備を散水して冷却する。 移動可能な可燃物容器は安全な場所へ移す。
消火を行う者の保護（保護具等）：	消火作業は適切な保護具（自給式呼吸器、防火服、防災面等）、化学用保護衣を着用する。

## 安全データシート

整理番号： IM\_LF-JP12-20150113

作成： 2006/09/17

改訂： 2015/1/13

製品名： イマージョンオイルLF

製造中止品

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、 保護具及び緊急時措置：	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行うこと。 漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入りを禁止すること。 処理作業の際には保護具（ゴム手袋、保護眼鏡、保護衣、呼吸用保護具等）を着用し、飛沫が皮膚に付着したり、ガス・蒸気を吸入しないようにすること。
環境に対する注意事項：	風上から作業し、風下の人を退避させること。 着火した場合に備えて、消火用機材を準備すること。 多量の場合、人を安全に退避させること。 流出した製品が河川等に排出され、環境へ影響を起ささないように注意すること。 悪臭等の刺激性が強いので、周辺の住民に漏洩の生じたことを通報する等の適切な措置を行うこと。
封じ込め及び浄化の方法、機材：	環境への放出を避けること。 危険でなければ漏れを止める。 漏出物を取扱うとき用いる全ての設備は接地する。 蒸気抑制泡は蒸発濃度を低下させるために用いる。 漏出物を回収すること。
二次災害の防止策：	付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。 排水溝、下水溝、地下室あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。 すべての発火源を速やかに取除く（近傍での喫煙、火花や火炎の禁止）。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	
技術的対策：	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。 取り扱い後はよく手を洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
局所排気・全体換気：	『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体排気を行なう。
注意事項：	
安全取扱い注意事項：	すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わない。 適切な保護具を着用し、吸入を防ぎ身体に触れないようにする。 眼に入れないこと。 この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。 屋外の取扱いは風上から作業しばく露を防止する。 取扱い後は手洗い・洗顔を行い、衣服に付着した場合は着替える。 容器は破損、腐食、割れ等のないものを使用する。 容器に入れる場合は、導電性ホースの使用と容器の接地を行い、静電気による爆発を防止する。 容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずるなどの取扱いをしない。 作業衣、安全靴は導電性のものを用いる。 使用済み容器は場所を定めて保管する。 取り扱い後はよく手を洗う。
保管	
適切な保管条件：	容器を密閉して換気の良い冷所で保管する。 直射日光を避け、通風の良い冷暗所に保管する。 保管場所は火気厳禁とする。 酸化性物質・有機過酸化物と保管を区別する。 施錠して保管する。
安全な容器包装材料：	消防法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

## 安全データシート

整理番号： IM\_LF-JP12-20150113

作成： 2006/09/17

改訂： 2015/1/13

製品名： イマージョンオイルLF

製造中止品

## 8. ばく露防止及び保護措置

設備対策： 使用時には局所排気すること。  
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器等を使用すること。

## 許容濃度

成分名称	安衛法 管理濃度	日本産業衛生学会		ACGIH	
		(ppm)	(mg/m <sup>3</sup> )	TWA	STEL
1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン	未設定	未設定	未設定	未設定	未設定

## 保護具

呼吸器の保護具： 適切な呼吸用保護具を着用すること。  
手の保護具： 耐薬品性手袋を着用すること。  
目の保護具： 耐薬品性ゴーグルの使用を推奨する。  
皮膚及び身体の保護具： 適切な保護衣を着用し皮膚への接触を防止すること。  
耐熱手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。

適切な衛生対策： この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしない。  
取扱い後は、石鹼を用いて、手洗い・洗顔・うがいを行なう。

## 9. 物理的及び化学的性質

## 製品

物理的状態： 液体  
形状： やや粘稠な液体  
色： 無色透明  
pH： データなし  
融点・凝固点： データなし  
沸点、初留点と沸騰範囲：  $\geq 200$  (°C)  
引火点： 134 (°C) クリーブランド開放式  
蒸気圧： データなし  
蒸気密度：  $\geq 1.0$   
比重： 0.9169 (15°C)  
溶解性： 水：不溶  
n-オクタノール/水分配係数： データなし

## 10. 安定性及び反応性

安定性： 法規制に従った室温保管及び取扱いにおいては安定と考えられる。  
危険有害反応可能性： 強酸化剤、濃硫酸+濃硝酸、酸素、オゾン、溶融硫黄等と反応する。  
避けるべき条件： 過熱  
混触危険物質： 酸化性物質  
危険有害な分解生成物： 加熱分解により、窒素酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素を生じる。

## 安全データシート

整理番号： IM\_LF-JP12-20150113

作成： 2006/09/17

改訂： 2015/1/13

製品名： イマージョンオイルLF

製造中止品

## 1 1. 有害性情報

製品

急性毒性（経口）： LD50: > 2000 mg/kg[ラット]  
 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ  
 皮膚感受性： 人への影響： 人に対して継続的又は繰り返し皮膚への接触で、  
 極軽度のアレルギー性皮膚炎反応を引き起こす恐れがある。

生殖細胞変異原性（変異原性）： AMES試験: 陰性

成分

1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン

特定標的臓器毒性  
 (単回ばく露) ラットに対する1,000mg/kgの投与で体重の減少又は増加抑制、  
 2,000mg/kg で一般状態及び腎臓への影響が観察された。

特定標的臓器毒性  
 (反復ばく露) ラットに対する28日間反復（経口）投与毒性試験において、  
 NOEL < 30 mg/kg/day、NOAEL = 30 mg/kg/day であった。  
 100mg/kg/day 投与群において病理組織学的検査で腎臓の好塩基性尿細管、血液学的検査で活性化部分トロンボプラスチン時間の延長が観察された。

## 1 2. 環境影響情報

製品

生態毒性  
 急性毒性（魚毒性）： 96 h LC50: > 100 mg/L[ヒメダカ]

成分

1,4-ジメチル-2-(1-フェニルエチル)ベンゼン

生態毒性  
 急性毒性（ミジンコ毒性）： Crustacea (Daphnia magna) 48-hr EC50 = 0.39 mg/L

## 1 3. 廃棄上の注意

廃棄方法： 廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。  
 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行なっている場合にはそこに委託して処理する。

廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。  
 特別管理産業廃棄物のため、廃棄においては特に「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の特別管理産業廃棄物処理基準に従うこと。

本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。

## 1 4. 輸送上の注意

国連分類： Class 9  
 国連番号： 3082  
 品名（国連輸送名）： Environmental hazardous substances, liquid, N.O.S.  
 容器等級： III  
 海洋汚染物質： 該当  
 輸送の特定の安全対策及び条件： 危険物は当該危険物が転落し、又は危険物を収納した運搬容器が落下し、転倒もしくは破損しないように積載すること。  
 危険物又は危険物を収納した容器が著しく摩擦又は動揺を起こさないように運搬すること。

## 安全データシート

整理番号： IM\_LF-JP12-20150113  
作成： 2006/09/17  
改訂： 2015/1/13

製品名： イマージョンオイルLF

**製造中止品**

### 15. 適用法令

消防法：	危険物・第4類引火性液体・第3石油類非水溶性液体
毒劇法：	非該当
安衛法：	非該当
化審法：	非該当
PRTR法（化管法）：	非該当

### 16. その他の情報

免責文： 本資料に記載の内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載の内容は新しい知見により改定されることがあります。  
また、注意事項は通常の取り扱いを対象にしたものであって、特殊な場合は用途用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。